

2010年8月

考古 No. 1

# けんぱくものしりシート

おおがたどぐうとうぶ

# 大型土偶頭部



こんにちは。ぼくは大きな土偶の頭の部分だよ。ぼくの顔は昔の人の姿じゃないかって考えられているんだ。よ〜く見てみて！こんな特徴があるのはどうしてなのか、一緒に考えてみよう。

あたま 頭に5つの穴がある。

あたま 頭になわでつけたもようがある。

かみ 髪の毛を表しているみたい。

とり はね 鳥の羽根などをさしてかざ飾りにしたのかも。

かお 顔にもようがある。

22.3 cm

めと 目を閉じている。

なんでだろう？

いれずみやフェイスペインティングをしていたかも。

みみ ほんもの耳が本物そっくり！

はな おお たか 鼻が大きくて高い。

くちびるが厚い。

まゆげの部分がでっばっていて、ほおとあごに段差がある。

おとこ ひと 男の人にみえるね。

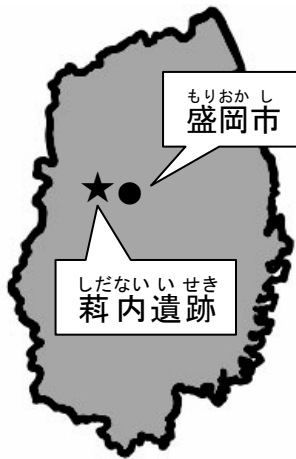
かめん 仮面をつけているじょうたい状態のようだね。

あごに19個の穴がある。

とり はね しょうぶつ 鳥の羽根や植物などをさして、ひげのようにしたのかも。

おおがたどぐうとうぶ  
大型土偶頭部  
ぶんか ちょうぞう  
文化庁蔵

22.3 cm



もりおかし  
盛岡市

しだないいせき  
蔭内遺跡

この土偶は「蔭内遺跡」と呼ばれる、盛岡市の繋温泉に近い場所から見つかり、約3,200年も昔の縄文時代に生きていた人々が作ったことがわかりました。当時の人々は、子どもが無事に生まれるように、食べ物がたくさんとれるようにといった様々な願いをこめて、いろいろな姿の土偶(土を焼いた人形)を作っていたようです。

すごいのはその大きさ！実際の人間の顔と同じくらいです。少し離れたところから見つかったもの(右の写真)は、右足の一部と考えられています。作られたときは全身あったのかもしれませんが、一体どんな姿だったのでしょうか。展示室にある他の土偶を見て、想像してみましょう。

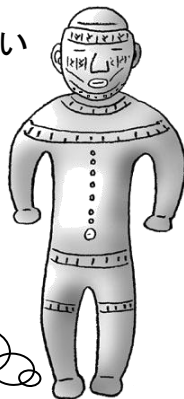


てんじしつ  
展示室にあるよ！  
さが探してみてね。



しだないいせき ほか どぐう  
蔭内遺跡の他の土偶みたいに、立っていたかな…

た 立っていたら身長  
120 cm (小学校2年生と同じくらい)になるんだよ！



おうしゅうしころもがわくひがしうらいせき  
奥州市衣川区東裏遺跡の土偶のように、座っていたかな…



今回紹介した大型土偶頭部はとてもめずらしく、「重要文化財」という、国の大事な宝物に指定されています。

さんこう  
参考にした本

『縄文の風景—大地と呪術』岩手県立博物館 1993年 / 『岩手の遺跡』岩手県埋蔵文化財センター 1985年

らいげつ 来月(9月)の  
けんぱくものしりシートは  
れきし 歴史—1だよ！  
おたのしみに！



モッチャン



岩手県立博物館

〒020-0102 岩手県盛岡市上田字松屋敷34  
Tel. 019-661-2831 Fax. 019-665-1214  
http://www2.pref.iwate.jp/~hp0910/